

自然と、あなたと、ともに未来へ。



2024年4月30日

株式会社レノバ

## 当社3蓄電池事業における 「長期脱炭素電源オークション」落札に関するお知らせ

株式会社レノバ（東京都中央区、代表取締役社長 CEO 木南陽介、以下「当社」）が開発を進めている、苫小牧（北海道/設備容量<sup>\*1</sup>：90MW）、白老（北海道/設備容量<sup>\*1</sup>：50MW）、森町睦実（静岡県/設備容量<sup>\*1</sup>：75MW）における3つの蓄電池事業（合計設備容量：215MW）が、「長期脱炭素電源オークション」<sup>(\*2)</sup>において落札いたしました。

本オークションは、蓄電池を含む脱炭素電源について長期的な収入の予見性を付与し、脱炭素電源への新規投資を促進する制度で、「2050年カーボンニュートラル」や「電力の安定供給」の実現に向け、2023年度から新たに創設されました。

当社は、「グリーンかつ自立可能なエネルギー・システムを構築し重要な社会的課題を解決する」という「ミッション/経営理念」を掲げ、再生可能エネルギー発電事業や蓄電池事業など、脱炭素に繋がる新規事業を推進してまいりました。本事業を通じて、天候や時間帯の影響で発電量が変動する再生可能エネルギーの主力電源化を支える調整機能を担うとともに、電力システムの安定化や更なる再生可能エネルギーの導入拡大に貢献してまいります。

(\*1) 電力広域的運営推進機関公表の約定結果（2024年4月26日）記載の落札容量は応札した設備容量に対し、エリア・電源種に応じた調整係数を乗じた数値となっております。そのため、本稿記載の設備容量とは数字が異なりますが、応札した設備容量全量に対して本制度が適用される予定です。

(\*2) 参照 URL：電力広域的運営推進機関「長期脱炭素電源オークションとは」  
[https://www.occto.or.jp/capacity-market/decarbonation\\_know](https://www.occto.or.jp/capacity-market/decarbonation_know)

以 上

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社レノバ 広報室

Email：press@renovainc.com